

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校

会長名 土屋 善靖

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①愛の一声運動の（あいさつ運動）の維持実施
- ②P T A三校合同ソフトバレー大会の会場校として、確実に準備を行うとともに、P T A組織の連帯感を高める。
- ③古紙回収を年間2回行い、収益を学校設備改善の資金として活用し、子どもたちのより良い学習環境を整える。

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ①「愛の一声運動」 子どもたちの自発的なあいさつを促すとともに「地域に見守られている」という安心感を与えることができていた。
- ②「P T Aバレー」 三校の役員、教員が一体となって準備を行い、それにより、吉原小の一体感、三校の結束を強めることができた。
- ③「古紙回収」 役員、町内評議員、教員が協力し多くの古紙を集めることができた。その収益を学校設備改善資金として活用することができた。

－反省点－

特になし

－改善案－

特になし

令和元年度 PTA 活動最終報告

富士市立今泉小学校
PTA 会長 高岸 正則

<活動行事>

- ・ PTA 総会 4 月 12 日
- ・ PTA 理事会 3 月 15 日、11 月 19 日
- ・ PTA 企画会議 年 8 回
- ・ 各部部会 各部年 2 回ずつ
- ・ 古紙アルミ缶回収 4 月 21 日、11 月 24 日
- ・ 親子奉仕作業 5 月 19 日、8 月 25 日
- ・ 運動会、マラソン大会への協力
- ・ 授業参観駐車場整備への協力
- ・ ナイトウォークの開催 11 月 9 日
- ・ 給食参観 11 月 21 日
- ・ 登校見守り
- ・ 地域団体との会合及びイベント出席 年 8 回
- ・ その他 入学式、卒業式への出席

<改善項目>

- ・ 古紙回収に関して、学校敷地内に回収 BOX を設置する計画を立て、来年度中に実施見込み。

<今後への課題>

- ・ 昨年末、富士市内で強盗発生後犯人が逃走逮捕までの間、朝登校時の見守り活動を実施したものの、緊急時の為、活動人員の確保が進まず、少人数で行わざるおえなかった。
このような緊急時の人の手配がスムーズにいくような体制を構築すべきだと感じた。
- ・ 会長選出について。当小学校では、各地区の持ち回り制を採用しているが、各地区からの選出が困難となるケースが数年ごとに発生する事態となっている。
まだまだ PTA 活動に対し、多くの保護者が実情を把握していない点が問題であると考え、PTA 活動の周知を行う場を今後作っていくべきだと感じた。

以上

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 伝法小学校 会長名 駒林 雅人

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎PTA 活動目標テーマ

地域と共に「楽しむ活動」 ～すべては伝法の子どもたちの未来のために～

- ・上記テーマの下、各部ごとにテーマの達成に向けた目標を掲げ、子どもを中心に
して PTA 活動に取り組んだ。
- ・コミュニティスクールの事業と共同で活動することも増え、伝法地区と関わりを多
くもちながら PTA 活動を行った。
- ・活動計画に基づき、各事業の実施に向けて各会議で検討、準備を行い、充実した取
組となるようにした。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

- ・各部の活動では、部ごとにテーマを設定し、「事業の意義」「子どもたちにとってど
のような成果が出るのか」を考え、部員全員が目標の達成を目指し、一丸となって
活動した。また、できることをできる人が行うというスタンスで、助け合いながら
活動をしていったので、各部員が無理なく主体的に事業に取り組むことができた。
- ・部ごとの事業を所属部員が主になって取り組んでいるが、総務部をはじめ他の部員
がのりしろをもって、各部が連携協働していった。それにより、各部の事業につい
ての理解や部員同士の信頼関係が深まり、良い相乗効果がもたらされた。

— 反省点 —

— 改善案 —

- ・PTA 全体で取り組む事業(奉仕作業や古紙回収等)に多くの保護者が積極的に参加し
ていただける。また、保護者の方もできることをできる範囲で行っているという様
子が見られる。その雰囲気大切にしていきたい。そして、PTA 活動へのさらなる
理解につながるよう、様々な取組についての広報・周知をしていきたい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立神戸小学校

会長名 渡邊 壮人

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

○PTA 活動

- ・リサイクル活動、親子奉仕作業、安全パトロール、AED 実施訓練、給食試食会
プール監視、神戸大運動会、持久走大会

○神戸地区各種団体行事

- ・三世代交流カップスタッキング大会、神戸地区夏祭り（雨天中止）、神戸大運動会
文化祭、防犯パトロール、

○富士市 PTA 連絡協議会主な行事

- ・富士市 PTA 理事、家庭教育委員研修会、交流会、第 4 3 回富士市 PTA のつどい
静岡県 PTA のつどい

取り組みの効果

- ① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

P T A活動を通じて、神戸地区および富士市 PTA 各会長、教職員の方を通じて各団体の皆さまとの交流により、「子育て」を中心とした絆が深まった。

今年は、地区の体育祭と合同で運動会を開催する初めての試みで、各団体とより交流が深められ、試行錯誤しながらも大変有意義な大会とすることができた。

—反省点—

- ・各行事開催を通じて、PTA はお母さんが主体となる運営となっており、父親がより積極的に参画できる仕組みにしたかったと思います。
- ・神戸大運動会で今年気付いた点などを翌年の参考としてほしいです。

—改善案—

- ・会長補佐が積極的に参加していたことから来年度の運営に活かされると思います。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 元吉原小学校

会長名 泉 ゆみえ

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・地域とのつながりを強くし、保護者・地域・学校が協力して子どもたちを育てる基盤を作ることを重点として各部の活動を実施した。
- ・成人教育部→PTA のつどいの映像制作に地域のドローン撮影の会社にご協力いただき、本校の地域的な特徴や実際の活動の様子を映像化した。
- ・家庭教育部→地域の文化祭に PTA らくがきせんべいの店を出し、地域の方々と子どもたちとの交流を深めた。
- ・生活指導部→安全な通学・下校のためにふれあい協力員の方と協力して交通指導を行った。
- ・体育保健部→中学校との合同レクリエーション大会を行い、交流した。
- ・環境整備部→地域のシーズイシハラさんのご協力で古紙・アルミ缶回収を行った。地区ごとに回収しているので、地域のご家庭の協力を得られた。

取り組みの効果

①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・家庭教育部の呼びかけで、給食試食会や地域の文化祭への参加者が増えた。
- ・生活指導部の交通指導に協力してくださるふれあい協力員や地域の方が増えた。
- ・環境整備部が地区ごとに、活発に古紙回収期日の周知に努めたので、全体の古紙・アルミ缶の回収量が増えた。

－反省点－

- ・役員以外の会員の PTA 活動への関心が高まらない。自分の担当しない活動への関心が低く、出席者が少ない PTA 行事があった。
- ・学校教育の円滑な推進を図るための保護者の自主的な活動を実践できなかった。
- ・PTA 活動を参加しやすく、実施効果の大きな内容にしていく改善策の話し合いを、役員アンケートを基に実施したが、来年度に向けて新しい活動の計画や提案には至らなかった。

－改善案－

- ・校内部長に各部の部会に参加してもらい、各部の活動内容について支部長会提案の前に検討し、改善する。
- ・事務局と校内部長や各部の部長との連絡を密にして、効率よく活動を進められるようにする。
- ・PTA 会員の考えや改善に関する意見を遍く聞く機会を設ける。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 東小学校 会長名 川名康弘

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

一人一役の全保護者参加型の役員体制にして一人一人の負担を軽くする。

取り組みの効果

1. 有
2. (無) (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

「役員」としての人数は増えた。

－反省点－

1. 「役員」は増えたが、専門部会によって役員の参加に個人差が出来てしまったり、皆さんが参加してくれて人員過剰になってしまったりすることもあったため、役員的人数は適正かという不満の声につながった。
2. 今年度は必要なときに案内を出して専門部会を開くという形をとったため、各専門部役員のスケジュール調整がうまくいかないこともあった。

－改善案－

1. どの行事に専門部役員は何人必要か検討し、次年度は必要人数で P T A を運営していき、東小学校にあった P T A の組織作りを検証していく。
2. 専門部会の会合を事業計画の年案スケジュールに組んで、あらかじめ予定を調整してもらう。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立須津小学校

会長名 田中 誠

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

運動会協力における作業軽減を実践した今年度は、会員数減を見越した活動内容精選を念頭に、継続か削減かを吟味しながらの活動となった。結果、P T A活動の精選についてのP T A会員向けアンケートを行ったり、役員会で活動について議論したりする中で、持続可能なP T A活動に向けての足掛かりがつかめた1年となった。

取り組みの効果

① 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

〈本部〉

これまで、P T A役員の負担軽減を目指し、活動内容を見直したり、各部会の回数を減らしたりするなどの工夫をしてきた。今年度は、P T A会員に必要である活動や残してほしいと考える活動を、アンケートを通して集約することで、来年度以降のP T A活動を見直すことができた。

〈生活指導部〉

年間2回となった校区内巡視は来年度も同回数にて継続する。安全の日パトロールの協力、かけこみ110番の家の協力も同様に継続していく。

〈成人教育部〉

外部講師を招いての星座教室を実施した。来年度は、P T A活動アンケートの結果に則り、廃止とする。また、親子健康教室もアンケートの結果に基づき廃止することとなった。P T A役員の負担軽減につなげることが目的である。

〈体育保健部〉

運動会協力において、開放する校舎の範囲をより縮め、体育保健部員のみでの見回りができるようにした。他の部員の負担軽減につなげることができた。

また、昨年度に引き続き、オリンピックパラリンピックへの思い、障害者スポーツへの理解を深めるべく、P T Aボッチャ大会を開催した。

〈環境整備部〉

年1回にした奉仕作業には、多くの保護者や児童が参加した。親子で同じ個所を掃除することで、保護者からは普段子どもたちが使っている学校施設に触れ合うことができたとの感想が聞けた。

〈家庭教育委員〉

後期に開催することになった給食試食会は多くの保護者に参加してもらえた。

—反省点—

各部の行事の参加者のとりまとめ、行事によって部員に負担がかかった。本部で負担を軽減できるよう配慮が必要だと感じた。

—改善案—

廃止した活動が本当に必要なかったのか、継続している活動についても吟味の余地があるのではないかという意図をもって丁寧に活動を企画・実施したい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第一小学校

会長名 工藤 るみ子

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- A. 穆清新聞発行・壁新聞作成
- B. 応急救護講習会・親睦バレーボール大会・親子ふれあいレクリエーション・運動会見回り等
- C. 古紙回収・環境整備作業
- D. 交通安全旗振り・交通安全を語る会参加、掲示
- E. 本の読み聞かせ・給食試食会

取り組みの効果

1. 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- A. P T Aの取り組みを知ってもらうことができた。
壁新聞は、東中と連携し、内容をそろえた。同じ内容のアンケートを児童・生徒に行い、結果を載せた。
- B. バレーボール大会やふれあいレクリエーションを通じて、会員が仲良くなれた。
親子ふれあいレクリエーションは、ドッジボールをしたことで、親子で楽しめた。
運動会の喫煙場所として、まちづくりセンターに場所を提供していただいた。
- C. 古紙回収・環境整備作業
環境整備作業では、前もって役割分担を決めてあったので、スムーズに作業ができ、早く終わることができた。
古紙回収で得た収益金で、子供たちのために必要なものを購入することができた。
- D. かけこみ110番の設置場所を確認したり、1年生と4年生、6年生の交通安全教室等の行事に参加したりして、児童の安全のために活動できた。
- E. 朝の時間の読み聞かせは、毎回子供たちに喜んでもらうことができた。
給食試食会では、栄養士の話をお聴きすることで、給食のよさを改めて知る機会になった。

—反省点—

- A. 年間3号発行しているが、1号と2号の発行日の間が短く、2号の作成が大変だった。
- B. 応急救護講習会は、3時間のコースにしたが、DVDを見る時間が伸びただけなので、2時間コースでよいと思った。
- C. 環境整備作業では、参加者一人一人に作業内容を伝える文書を送っていたが、大変だった。
- D. 6年生が行った交通安全を語る会は良いものだったので、参加者を増やす工夫をしたい。
- E. 本の読み聞かせは良いと思っている方が多くても、ボランティアが増えない。また、読み聞かせのある日は、部員さんが仕事を休む必要があり、負担感が大きい。

—改善案—

- A. P T A新聞は年間3号から2号の発行に減らす。1号は学校職員や前年度のP T A活動を紹介し、2号は、今年度のP T A活動を紹介する内容とする。
- B. 5～6月の日曜日にP T A活動が多くあることや、参加者がなかなか増えないことから、「親睦ソフトバレー」を来年度は行わないことにする。
- C. 環境整備作業は、お子さんのクラスごとに作業内容を割り振ることで、文書発送作業を減らす。
- E. 月に1度行っていた読み聞かせの回数を、2か月に1度程度に減らす。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校 会長名 鈴木 梨絵

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年3回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年3回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（親子奉仕作業）
- ④P T A誌「大樹57号」の作成
- ⑤運動会およびマラソン大会への協力
- ⑥交通安全教室（1年生・4年生）への協力・補助
- ⑦家族ぐるみ読書の推奨・年2回のP T A読み語りを実施

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① 登校の様子を見守り、児童があいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築できたので、効果的だった。
- ② 3回の活動で得られた収益金を、児童のために有効に活用することができた。
- ③ 普段は手が回らない清掃（室内高所の清掃なども含む）を行うことができたので、学校全体をきれいにすることができた。
- ⑤ 運動会の用具準備やテント設営、マラソン大会のコース監視など、教職員だけでは手が足りない部分を補うことができた。
- ⑤ 教職員だけでは手が足りない部分を補うことで、保護者と児童の交通安全に対する意識を高めることができた。
- ⑥ 教職員だけでなく保護者が協力したため、安全管理面で目が行き届いた。
- ⑦ 活動後には、「親子で触れ合う時間を過ごすことができた。」「子どもが小さい頃に読んであげた本を、改めて読み聞かせていく中で、子どもの成長を感じた。」等の好意的な意見が多かった。

－反省点－

- ・ P T A誌「大樹」の制作にあたって、学級のページや保護者作成ページをまとめる作業を担当教師・クラス担任・P T A役員が行っているため、負担が大きい。昨今の個人情報保護の流れで、掲載写真の確認に時間がかかる。そのため、校正後の手直しの打ち合わせが煩雑になる。

－改善案－

- ・ 担当職員の作業の負担が大きいため、P T A役員での作成ができるようにしたい。また、レイアウト等の構成は手間がかかるので、業者に依頼したい。そのため予算の関係からも、現在の「P T A誌」としてではなく、新聞形式への変更などを検討する。

令和元年度原田小PTA重点活動取組み内容

①古紙回収、

②校内美化活動

・校舎のトイレ・せせらぎ周辺の草刈りを含む清掃活動。

③児童減少に伴うPTA役員の人数調整及び、PTA活動への積極的参加を促す

取組みの効果

① 体育館の改装工事の影響で、スペース的にも確保が難しく予定の金額に到達することができなかった。2回の開催予定も1回の開催で終わってしまった。

② 高圧洗浄機などを導入して、普段はできない箇所を重点的に清掃できたと思いました。天気と開催時期をしっかりと見極めることが大切です。参加人数や作業可能時間にも影響します。

③ 中島地区の生徒数減少に伴い役員の人数を調整した。また各地区次年度の役員選出で、予想以上の時間短縮が出来、楽しく活動することで一定の理解と影響ができたと思います。

反省点

①回収業者と子ども会育成会との日程調整が必須であり、早めに動き出さなくてはならない。（次年度は回収業者と育成会の行事が合わず同日開催不可能。）

② 清掃の時間が短かすぎるので、日程を分けたりもう少し時間をかけて清掃してもいいと思いました。

③ありません

改善案

① 継続的に古紙回収できるスペースの設置

② 時間を長くするか、2日間に分けて参加できるオプションを与える
参加したくないわけではないが、1日だけだと選択が難しい場合がある

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第一小学校 会長名 石川 潤

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

【成人教育部】

- ・ P T A機関誌「ひろば」の発行(年3回) … 学校行事、P T A活動取材し、写真と記事を掲載
- ・ 3校合同P T A教育講演会の実施(大淵中、大淵二小との合同講演会)

【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A総会の際に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年3回ずつ当番制で登校の見守りを行った。
- ・ 地域の安全見守り…見守り110番の家の新規依頼、確認。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年3回)、奉仕作業(年1回)

【体育保健部】

- ・ 救命救急講習…普通救命法について救命士による講習会

【家庭教育委員会】

- ・ 新茶を楽しむ会 … 大淵地区で栽培が盛んなお茶を新茶の時期に児童がたしなむ。
- ・ 給食試食会 … 保護者を対象に、学校給食の様子を体験する。
- ・ B E N T Oの力 … 子どもが自身の力で弁当をつくり、食に対する意識を高める。
- ・ コサージュ準備 … 卒業生が卒業式につけるコサージュの準備をする。

取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、P T A活動を全会員に知らせ、広めることができた。
- ・ 学校行事を大きく紙面に載せたことで、家族で学校行事を振り返ることができた。
- ・ 地域の農園で体験活動をしたり、工場を見学したりする活動に多くの保護者や児童が参加できた。

【生活指導部】

- ・ P T A総会の際に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年3回ずつ当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収では、会員の家庭だけでなく地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができたため、P T A活動費に充てることができた。

【体育保健部】

- ・ 緊急時の対応を学ぶことで、地域にあるAEDの使用方法が分かった。

【家庭教育委員会】

- ・ 栽培が盛んなお茶を子どもたちに提供し、お茶の入れ方の手本を示しながら飲んでもらうことで、総合的な学習で取り上げるお茶について課題意識をもつことができた。
- ・ 給食試食会では、配膳や食事の様子を見学したり、給食の意義を栄養士から聞いていただいたりしたことで、保護者の学校給食への理解を深めることができた。

—反省点—

▽P T A行事には多くの保護者が参加したが、もっと多くの方が参加できると考えられる。より多くの保護者が参加できる方法を考えたい。

—改善案—

◇教育講演会では話を聴くだけではなく、体を動かしたり、子どもと一緒に参加したりするなど内容を工夫したい。また内容も地域の工場を見学したり、講演会を本年度地域の防災について行ったりしたように、身近な話題を取り上げたい。

◇奉仕作業は第1回目を親子で参加することとし、6年生と一緒に参加している。このことを引き続き行っていくことでより広く奉仕作業の存在を意識させたい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 大石 啓太

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

<成人教育・生活指導部>

- ・通学路の確認・危険箇所マップの作成・かけこみ110番の家の確認

<体育保健・環境整備部>

- ・救急法講習会・奉仕作業（2回）

<家庭教育委員会>

- ・給食試食会・市P T Aのつどい掲示物作成

<本部主催>

- ・わくわく集会への出店・交通安全を語る会への参加・学校保健委員会への協力

<三校合同事業>

- ・三校合同講演会

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

小規模校ですので、全保護者がP T Aの部員です。活動も全員で行うことが多いです。奉仕作業は、環境整備部長が企画しますが、P会員全員で行います。広い敷地内の整備を少ない人数でやるので、時間がかかりますが、皆さんとても協力的で、積極的に働いてくださいました。本年度は、リサイクル活動を、リサイクルボックスを設置する形に変更しました。負担感の減少につながったと思います。

先生方からは、P T Aの強力なバックアップにいつも感謝されています。全員が部員ということで、一人一人の仕事は多いのですが、先生方と一緒に子どもの活動を支えている実感があります。これからも子どもたちの学校生活を積極的にバックアップしていきます。

—反省点—

とくにありません。

—改善案—

全員でなければ実施できない活動があるため、各部の仕事をなるべく減らして、P会員一人一人の仕事が増えすぎないように気をつけています。これからも、活動内容の精選をして、意義のある楽しいP T A活動にしていこうと考えています。

令和元年度 P T A活動最終報告
学校名 富士第一小学校 会長名 服部 英之

令和元年度重点活動の具体的取り組み内容

- ・学区内主要横断歩道における登校時の旗振り当番を年間通して実施
- ・運動会への協力（保護者の応援席場所取りの整理、当日警備巡回）
- ・校内クリーン作戦
- ・資源回収（年間7回）
- ・P T A新聞発行(年2回)
- ・給食試食会の実施
- ・地域かじま祭りにて「子ども相撲」の準備、運営協力
- ・親子スポーツイベントの実施
- ・P T A防災キッズ2019の実施

取り組みの効果

① 有 ② 無（なぜ効果がでなかったのかを「反省」に記入）

—具体的な効果—

- ・登校時の旗振り当番は、年間を通して全世帯にお願いして実施することで、子どもたちの交通安全意識を高められたとともに、P T A会員にも、「学区の子どもたちはみんなで見届ける」という意識を高めることができた。
- ・運動会では、「応援スペース」や「シートを敷いてよいスペース」などを事前に学校と協議の上、地図にして配布した。お互いに気持ちよく応援ができる配慮を行うことができた。また当日は、校内外の見回り（違法駐車等の見回り）を行うことで、子どもたちや先生方が、活動に集中できるように支援できた。
- ・資源回収は、より多くの方が参加できるように土曜日・学校行事の日程に合わせた。年度途中までは1日だった回収日を、一週間に延長することも試みた結果、回収率の向上につながりつつある。還付金で、保護者来校証ホルダー等を購入することができた。
- ・防災意識を高めようと、「P T A防災キッズ2019」を企画した。パッキング、水消火器体験、A E D体験などを多く取り入れて、200名以上が参加した。

—改善案—

- ・専門部の諸行事については、引き続き参加したくなる内容になるように検討し、計画を立てるとともに、学校の工事期間を考慮して計画・実行する。
- ・各行事を見直したり、活動のスリム化を図った結果、4専門部の活動に偏りも出てきた。次年度は、家庭教育部が行ってきたP T A新聞の作成を、副会長をリーダーとする本部役員による作成にするなど、事業分担の見直しに努める。また、各部の事業をフォローし合う体制も引き続き継続する。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校 会長名 前島 大介

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・富士南中校区の3校合同事業の幹事校として、ソフトバレー大会、三校合同イベントの開催。
- ・PTA新聞「けやきひろば」を年2回発行した。「けやきブログ」を随時更新
- ・学校行事や地区行事への参加及び協力（運動会、地区文化祭、お祭り等）
- ・PTA全世帯交代での旗振り活動（通年で毎日実施）並びに、来年度からの登校時間変更に伴う旗振り時間の見直し。
- ・不審者情報の増加に伴い、防犯教室を開催（わくわくフェスタとして、宝探しゲームや、父親委員手作りのカレーランチと合わせて実施）
- ・年3回の資源回収実施
- ・各種イベントの開催（文化講座、給食試食会、餅つき大会）

取り組みの効果

1. 有

－具体的な効果－

- ・資源回収、奉仕作業、体育館清掃を通して、子どもたちの教育環境を整備した。
- ・旗振り活動で、通学時の安全を確保した。
- ・PTA新聞やけやきブログにより、PTA活動を周知できた。
- ・PTAや学校、地域の連携を深めることができた。
- ・親子参加により、学校教育や環境への関心が向上した。

－反省点－

- ・年々、活動が減少傾向にあるが、大人の都合に左右されず、子どもたちにとって必要な活動は継続していく必要がある。

－改善案－

- ・本当に必要な活動や会議を精査し、誰もが参加しやすい状況を整える。

令和元年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立田子浦小学校

会長名 茅原由美

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

・校内、校外（地域）との繋がりを深める活動

地域連絡協議会、学校運営協議会の参加

地区文化祭と田子浦っ子祭りの合同開催、田子浦みなと祭り、地区体育祭や行事への参加

・学校をよりよくするための活動

親子奉仕作業、古紙回収（2回実施、1回雨天中止）、古紙回収 BOX の設置

・子供たちの安全を守る活動

心肺蘇生法講習会、パトロール、交通安全を語る会参加、イベントの警備、地区安全大会の参加

・子供たちに喜んでもらう活動

祭りでの模擬店・ナゾトレウォークラリー、PTA バザー

・PTA を理解してもらおうための活動

年2回の学校新聞発行

給食試食会の実施、卒業生へのコサージュ作り、PTA つどい用学校物掲示板作成

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果が出なかったかを - 反省点 - に記入）

- 具体的な効果 -

- ・地域一体となって様々な行事に関わりを持てた。
子供たちの為に・・・を地域の方と一緒に考えることができた。
小・中・子ども会と連携していく動きができた。
- ・古紙回収再生促進センターさんより、感謝状をいただいた。
(集団回収を継続して実施、年間40トンを超える回収量により)
6月に古紙回収BOXを設置したことにより更なる活性化となった。
収益により学習環境の改善に役立てることができた。
- ・子供たちの安全を守るための知識が得られた。
交通安全を語る会では子供と一緒に考えることができた。
- ・祭りでは子供たちが喜ぶことを役員で考え、実施することができた。
- ・PTA つどいの掲示物で最優秀賞をいただき、多くの役員さんに興味を持ってもらえた。
給食試食会、コサージュ作りは多くの会員さんに来ていただけた。

- 反省点 -

- ・PTA 役員の負担が大きく、PTA 活動に参加しない会員も多くいるということ。
- ・PTA 活動において、各部での引継ぎ、役員同士の連携・共有をもう少しこまめにした方が良かったと感じた。
- ・全会員さんに対し、PTA 活動に参加したくなるようなアピールを工夫していく必要がある。

- 改善案 -

- ・PTA 役員の負担を少しでも軽減できるように、行事・会議の見直しをしていく。
- ・役員決めについての見直しを小・中・子ども会と連携して進めていく予定。
- ・多くの人に参加して頂けるよう、PTA 活動に参加して頂いた方の声や喜び、笑顔を発信していき、PTA 活動に対しての抵抗感を減らしていきたい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 会長名 渡邊 稔夫

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

<生活指導>登下校時、放課後の児童の安全確保について

(ハザードマップ作り)

- ・通学路や岩松小校区の危険個所を、見やすい地図にまとめて周知する。
- (旗振り)
- ・登校時の見守り活動(旗振り)の方法を見直す。

取り組みの効果

1. 有 2. (無) (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

(ハザードマップ)

- ・危険個所を地図にまとめることはできた。

—反省点—

(ハザードマップ)

- ・地図データの使用許諾(著作権)の問題が解決できなかった。
- (旗振り)
- ・通学区(地区)ごとに伝統や事情が異なり、中々一概に事が進まない。
 - ・子ども会や地域の行事に参加しない家庭が増え、近所同士の関係が希薄になってきているため、地域の実態がつかめない。

—改善案—

(旗振り)

- ・通学区単位での登校時見守り活動を、通学区主導から PTA 主導に移行していく。
 - ⇒個人情報保護の観点や、通学区ごとに築いてきた歴史の問題があり、PTA 主導で行うことについては、現在検討継続中。
 - ⇒PTA 生活指導部が中心となり、誰もが参加しやすく持続可能なやり方を検討していくことが令和2年度の課題となる。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 植松 貞治

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総会の運営(4/13)
- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえ (5/15)
- ・ 運動会への協力(6/1)
- ・ インディアカ、ファミリーバドミントン(通年)
- ・ P T A新聞の発行(3回)
- ・ 総合防災訓練への協力(9/1)
- ・ 資源回収(通年)
- ・ 県下一斉補導(7/17、12/17)
- ・ 親子奉仕作業(7/7)
- ・ 3校合同事業
元ディズニー教育担当スペシャル講演会「最高のおもてなし」(10/5)(鷹岡小)
- ・ 校内防犯パトロール(授業参観)
- ・ P T Aバザー(12/7)
- ・ 通学路点検(通年)
- ・ 校内夏季夜間パトロール
- ・ 子育て研修会味噌づくり(7/12)
- ・ 交通安全を語る会への参加(6/27)
- ・ 給食試食会(11/20)
- ・ コサージュ作り(2/13)

取り組みの効果

1. 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえは、学校の引き取り訓練との連携を深め、親子で通学路を歩きながら、かけこみ 110 番のいえの場所を確認した。保護者も通学路の危険箇所を確認でき、子供の防犯意識を高めることができた。また、地震発生時に家庭に戻るか学校に行くかを判断する場所の確認もした。発災時についての意識も高めることができた。
- ・ インディアカ、ファミリーバドミントンは、例年通り盛り上がり、会員同士の親睦が深まった。
- ・ 総合防災訓練への協力では、今年は日曜日ということもあり、各地区での活動となった。3年目ということで、区長さんはじめ役員さんと児童・保護者の交流が進み、地区ごとの結びつきが強くなった。今後も続けていきたいと考えている。
- ・ 親子奉仕作業では、親子で汗を流しながらの作業で、普段子どもだけではできない場所がとてもきれいになり、子どもが毎日気持ちよく生活できる環境整備ができた。

—反省点—

- ・ 親子で確認！かけこみ 110 番のいえは、地区ごとの人数に差があるため、確認に手間取る地区があり、学校を出発する時間に差が出てしまう。確認方法を検討したい。

—改善案—

- ・ 各行事の運営や募集について、参加者が増えるように早めに募集したり、活動内容をくわしく伝えたり工夫していく。
- ・ 防災訓練が平日開催となるため、地域の防災訓練にどのように参加するかを検討して、これまでに築いてきた結びつきを大切にする参加方法を学校と検討したい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 田中 博道

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

成人教育部・・・P T A新聞によるP T A活動の啓蒙（年3回）

環境整備部・・・古紙回収（年2回）奉仕作業（年2回）

生活指導部・・・1・4年生の交通教室の協力、かけこみ110番の家の再確認

体育保健部・・・運動会への協力

その他

- ・理事会や専門部会等の時間を明確にする。理事会19時から、専門部会は、20時から実施。
- ・会議を精選し、負担感の少ない活動にしていく。
- ・今までのP T A行事の意味を再確認し、必要な行事のみを実施する。

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

成人教育部

- ・日々の教育活動やP T A活動を知ってもらえる機会となった。

環境整備部

- ・地域の協力もあり、安定した回収量が確保できた。

生活指導部

- ・かけこみ110番の家を再確認し、携帯等から検索できるシステムを導入した。

体育保健部

- ・大きな混乱もなく、無事に運動会を終えることができた。

その他

- ・毎月、理事会を19時より実施した。専門部会については、必要のあるときだけ実施した。今年度から、理事会前に正副会長会を行い、議題の共通理解をはかった。
- ・おばけやしきや、味噌づくりなど、特色ある活動ができた。
- ・地域の声を聞く会、行政懇談会など、地域の意見を聞くことができ、様々な活動をしていることが分かり、大変よかった。

－反省点－

- ・理事会と専門部会の時刻の設定が遅い時刻だったため、途中から専門部会の開催時刻を30分早めた。来年度も開始時刻を早め、負担の軽減に努める。
- ・限られた時間で効率よく活動をしていく意識をみんながもつようにしていく。
- ・各行事の回数等を見直していく。

－改善案－

- ・継続して、1人当たりの負担軽減のため、長時間参加する行事は拘束時間を短縮し人数を分散する。
- ・各行事参加一覧表を作成し、個人的な負担が偏らないようにしていく。
- ・理事会開催時刻を19時、専門部会は19時30分からとする。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 丘小学校

会長名 金子佳久

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

時代にあった P T A 活動の実践と検討

- ・ P T A 役員の負担軽減 : P T A 活動を行うにあたりこれまで P T A 役員で行なってきた設営等を一般 P T A 会員にお手伝いの公募を行い準備・設営を行っていただき、 P T A 役員の負担軽減を行なった。(交通安全教室、運動会見回り等)
- ・ P T A 活動における継続事業も含め事業見直し、仕訳作業を行なう“ビジョン策定会議”を立ち上げ今後 3~5 年程度継続し改革を行なう。
- ・ P T A 役員の各地区における輩出基準の見直し : 各地区における P T A 役員輩出における基準、輩出方法に課題があり、次年度以降の基準見直しを行い次年度に引き継ぐ。
- ・ 各専門部会における実施事業の事業背景・目的を明確にし、今後の活動の見直しを行なった。

【具体的な活動】

- ◎「親子で楽しく、一緒に参加する P T A 活動」を目指し、親子で楽しめる活動を企画・運営をした。また、それぞれの活動が、 P T A 会員同士の交流を深める場となることをめざした。
- 丘地区さくら祭や丘地区文化祭など、地域の行事への参加(執行部)
丘地区の行事である「丘地区さくらまつり」や「丘地区文化祭」において、 P T A 主催の模擬店を出店。
- かけこみ 110 番ウォークラリー(生活指導部)
学校の避難訓練終了後に、引き取り訓練と合わせて、親子で通学路の危険箇所やかけこみ 110 番の家の確認をした。また、行政に働きかけを行い地域内の危険箇所の改善を行い子供達の安全確保ができた。
- 朝の交通安全(旗振り)指導(生活指導部)
毎月、1 日と 15 日を基本に、月 2 回、各町内の生活指導部員で当番を決め、登校時の交通安全指導を行った。
- 親子奉仕作業(環境整備部)
保護者、児童、教職員が参加し、運動場石拾い、側溝清掃、草取り、校舎内トイレの清掃を行った。
- 親子スポーツ教室(体育保健部)
第 1 回親子スポーツ教室……ドッジビー大会 開催
第 2 回親子スポーツ教室……キンボール大会 開催
- 親子食育推進事業(体育保健部)
家庭で出来る食育推進として「ぼくもわたしもクレープ屋さん」を開催しいちごクレープを参加者で調理した。
- 親子学習教室(成人教育部)
「丘小アカデミー」では紙飛行機を製作し、親子交流をもてる事業を開催した。
- P T A 新聞発行(成人教育部)
 P T A 活動の広報と、学校行事の紹介のため、成人教育部で取材、編集・構成をして、

PTA新聞『愛の泉』を発行した。

○卒業生コサージュ作り（家庭教育部）

家庭教育部員と有志で、心をこめて卒業生のコサージュ作りを行った。

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
—具体的な効果—

- ・一般PTA会員への公募は多くの会員の協力をいただくことが出来、PTA活動の幅の広がりを感じる事が出来、大きな効果を生み出すことが出来た。
 - ・PTA活動の事業仕訳においても現在継続事業として行なっている活動の意義の振り返りが行なえたのと、今後の事業展開においても大きなヒントが生まれた。今後も継続的にビジョン策定会議が実施されればより良いPTA活動が生まれてくると思う。同時に、各地区におけるPTA役員の輩出基準や方法に関しても同様に継続的に見直すことで、時代にあったPTA活動を行う起点となった。取組の効果は今後に大きな期待をもっている。
- 丘地区さくら祭や丘地区文化祭など、地域の行事への参加
PTA活動をPRするコーナーやお店を出店することにより、子どもたちだけでなく、地域の人々にも丘小PTA活動の実践内容を伝えることができた。
- かけこみ110番ウォークラリー
通学路を親子で一緒に歩くことにより、かけこみ110番の家や通学路の危険箇所を確認することができた。また、子どもたちにも、いざという時は、「自分の身は自分で守る。」という意識をもって行動してほしいことを伝えることができた。
- 親子奉仕作業
親子で協力し合いながら作業をすることにより、約2時間の作業で、子どもたちが気持ちよく生活できる学校環境が整った。親子が一緒に作業することを通して、触れ合う場になった。
- 親子スポーツ教室〈第1回「ドッジビー大会」 第2回「キンボール大会」〉
 - ・ドッジビー大会は、子どもから大人まで139名の参加があり、楽しく試合をすることができた。ドッジビーは低学年の子どもから大人まで、みんなが楽しく参加できるスポーツで、参加者からも好評であった。
 - ・キンボール大会は、昨年度よりも多い94名の親子が参加した。チームの仲間や親子で作戦を練ったり、協力し合ったりして試合に臨む姿が見られ、大変盛り上がった。キンボールを通して、PTA会員同士の交流も深めることができた。
- 親子学習教室「丘小アカデミー」
会場である体育館には多くの親子が集まり、紙飛行機の飛ぶ原理を学んだり、紙飛行機の製作、飛距離コンテストを行ない多くの笑顔が生まれる有意義な活動が行えた。
- 親子食育推進事業「ぼくもわたしもクレープ屋さん」
地場生産のイチゴを活用し、親子で行なえるクレープ作りを行なった。会場では甘いイチゴをクリームの香が漂い、「おいしい～」と喜ぶ子供たちの笑顔あふれる事業となった。参加者は81名。
- 朝の交通安全指導
校区には、交通量の多い交差点や横断歩道も多いので、朝の旗振り指導を行うことにより、子どもたちが安全に登校でき、また、あいさつを通して、子どもと触れ合うことができた。

○PTA新聞の発行

PTA新聞を通して、PTA各専門部の活動の様子や学校行事での子どもの様子等を伝えることできた。

○卒業生コサージュ作り（家庭教育部）

素敵な卒業式になるように、参加者が一つ一つ気持ちを込めて丁寧に手作りをしてくれた。卒業していく6年生を想い愛情たっぷりのコサージュができあがった。みんなでコサージュを作ることにより、参加者同士の交流も深めることができた。

－反省点－

- ・これまで、PTA役員を中心に事業の準備や設営を行い、一般のPTA会員は参加者として事業展開を行ってきたが、今後は一般のPTA会員をもっと巻き込み、PTA役員の負担軽減と同時に、一般PTA会員の参加者意識を持てるような事業展開を考える必要がある。
- ・“ビジョン策定会議”は第1回目を9月に開催したが、もっと早い時期からの開催を繰り返し行なうことと、専門部長、副部長など、事業を実践する担当者を巻き込むことで次年度以降に繋げる必要を感じた。

－改善案－

- ・一般PTA会員の参加者意識を持てるような事業展開の検討・実施
- ・“ビジョン策定会議”の早い時期からの開催と、専門部長、副部長など、事業を実践する担当者を巻き込むことで次年度以降に繋げる工夫。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 下田 良秀

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

・ P T A親子奉仕作業

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ペンキ塗り、アスレチックの防腐剤塗り、トイレの細かなところなど、大勢の手がないとできない作業ができた。
- ・保護者・児童・教職員・「チーム富士見台サポーター」が、協力して学校をきれいにしようという気持ちをもてた。

—反省点—

- ・自主的に参加する人が限られている。
- ・親子で一緒にできる分担になっていないところがあった。

—改善案—

- ・今年度は、「チーム富士見台サポーター」の取組のおかげで、枝打ちなどの作業がなくなったため、秋に行う予定のトイレ掃除まで行うことができた。来年度は、2回目を親子で取り組めるように時間と場所を設定したい。
（授業参観後、子どもと同じ活動場所で行う。）

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 落合洋平

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回） 壁新聞づくり
- ・生活指導部 交通安全街頭指導（年4回）
1年生交通安全教室・4年生自転車教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収（年2回）
- ・体育保健部 運動会準備・協力 三校合同球技大会参加 持久走大会準備・協力
- ・家庭教育部 給食試食会 P T Aバザー主催
- ・父親クラブ 学校のかいだん

取り組みの効果

1. (有) 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・成人教育部 P T A 会員の皆様が楽しめる内容を心掛け、新聞を発行することができた。
- ・生活指導部 P T A 会員の順次参加で交通安全街頭指導、理事パトロールなどはほぼ計画どおりにできた。通学時の危険箇所アンケートを実施し、「危険箇所マップ」を作成し、危険個所での見守りを呼び掛けた。
- ・環境整備部 奉仕作業では、大勢の参加者で、けが人もなく協力して学校内外をきれいにすることができた。2回の古紙回収をスムーズに行うことができた。
- ・体育保健部 持久走大会の保護者立ち入り箇所の制限が保護者に浸透して、スムーズに活動ができた。
- ・家庭教育部 P T Aバザーは、大盛況に終わった。給食試食会も大好評であった。
- ・父親クラブ 「学校のかいだん」は、参加定員数を超える多くの応募があった。安全確保のため400名程に限定した。前年度の反省をもとに取組の改善がされ、良い活動となった。

－反省点－

- ・「学校のかいだん」は好評で大盛況に終わったが、夜の活動になるため登下校の際の安全確保、参加者が限定されること、ジュニアリーダー（中学生の手伝い）の帰りが遅くなることなど、課題が残っている。
- ・バザーの品物の展示を当日行ったが、教室への搬入がたくさんの待つ人でやりにくかった。

－改善案－

- ・「学校のかいだん」については、課題の改善に向け、対策を考えていく。
- ・バザー用品の搬入、展示について、日時を検討していく。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 榊原 啓介

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 P T A会則改正後の新体制による運営、活動の実施
 - ・昨年度、P T A会則を改正した。(本部役員・各専門部役員の選出方法を地区制から学年制に変更。各部員の構成を4、5年生のP T A会員全員に変更。)
 - 本年度は新体制での運営・活動を行った。
 - ・昨年度の改正から上がった課題や反省点を改善するために、臨時P T A総会を開き、役員当番制度の内容を一部改正した。
- 2 各専門部の活動の見直し
 - ・H29年度より取り組んでいる「活動のさらなる充実」「教職員・P T A役員の負担の低減」「活動参加者を増やす」「誰でもできる活動」を今年度も継続して取り組んだ。
 - (1) 米作り・収穫祭(環境整備部)
 - ・地域から学校主体の活動に変更して3年目を迎え、過去2年間の反省を生かしながら実施した。
 - (2) 親子奉仕作業(環境整備部)、かけこみ110番ウォークラリー(生活指導部)
 - ・「授業参観日」に同日開催を継続した。
 - ・H30年度から始めた「6年生親子奉仕作業」を継続して実施した。
 - (3) 卒業式のコサージュ(家庭教育委員)
 - ・授業参観日に同日開催とした。

取り組みの効果

1. **有**
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

【1について】

- ・各専門部員が同学年児童の保護者となり、活動を通じて横のつながりができてきた。
- ・昨年度の課題を改善するために臨時P T A総会でP T A会則改正を提案し、可決された。役員選出に際しては、改正された選出方法で順調に選出できた。
- ・R2年度に向けて、活動の見直しができた。

【2について】

- (1) 学校主体となって3年目となり、学校での実施方法、P T Aとの連携・協力体制が確立してきた。
- (2) 授業参観日の同日開催にすることで参加人数が増え、親子で協力し合い楽しく奉仕作業ができるようになった。また、保護者と児童と一緒に、110番の家の確認、通学路の危険箇所の確認ができた。
親子奉仕作業には、担任の呼び掛けもあり、昨年度より多くの親子が参加した。
- (3) 授業参観日に行ったことで、6年生の保護者が参加しやすく、参加者が増えた。

—反省点—

【1について】

- ・役員選出、部員所属の方法を変えて2年を迎えた。変えたばかりのため、周知不足・確認不足があり、調整することがあった。
- ・1年間の活動を終え、部員を経験した保護者から課題や改善点をいただいた。

【2について】

- (2) 奉仕作業について、作業内容や時間配分、分担など見直しが必要。

—改善案—

【1について】

- ・改正された内容(役員選出方法、当番制度、部員所属など)の周知を図る。そのうえで、必要に応じて意見を聞き、参考にする。

【2について】

- ・「誰でもできる活動」にするため、各部の活動内容をさらに見直し、活動の精選を図りたい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立 岩松北小学校 会長名 島崎 裕二

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

【岩松北小 P T A】

- ・年10回のP T A役員会（各専門部ごと開催）
- ・P T A親と子のつどい（9月）
役員各部、岩松中P T A、ジュニアリーダー、児童クラブ、3年・5年・6年の学級・特別支援学級が出店し、親と子の親睦を図った。

【三役】

梅まつりでの出店（14名参加）

【成人教育部】

- ・年2回「会報いわもと」発行（7月・3月）
- ・市P T Aのつどい 掲示物作り

【環境整備部】

- ・奉仕作業（6月）
- ・年3回古紙回収（5月・11月・2月）

【体育保健部】

- ・スポーツ親睦会「ドッジビー」
- ・運動会協力
- ・チャレンジランニング大会への協力

【生活指導部】

- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼
- ・校区パトロール（8月）
- ・かりがねまつり、実相寺お会式街頭指導

【家庭教育部】

- ・P T A試食会の実施
- ・家庭教育部・6年生保護者による卒業生 コサージュ作成

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

・「親と子のつどい」は、本校独自の活動である。マスのつかみ取りやリース作りなど体験型の店において、児童と保護者が楽しく活動したり、焼きそばやフランクフルトなどの模擬店では、役員と教員が共に店の運営にあたり、たくさんのふれあいがあった。体育館では、家庭教育部を中心にバザーを開くことができ、またくじ引きのとも増え、大盛況だった。また、昨年度に引き続き、学級のお店も多数出店され、より保護者と学校が連携した会となった。

【成人教育部】

- ・ P T A 広報誌「会報いわもと」において、P T A 活動の様子をたくさんの写真とともに詳しく紹介した。

【環境整備部】

- ・ 古紙・アルミ缶回収では、地区の回覧板を通して日程や収益についてお知らせを行った。年々回収量が少なくなっているが、行事での回収や曜日の検討を行って来年度につなげたいと考える。

【体育保健部】

- ・ 低学年の子供から大人まで一緒に楽しめる「ドッジビー」を実施した。教員も多く参加し、さわやかな汗を流すことができた。

【生活指導部】

- ・ 子どもの安全のために、かけこみ 110 番の整備や校区内パトロール等を行ってくださった。校区の危険箇所の調査を行う中で、パトロールで設置している看板の修理を行った。また、各地区で P T A 会員が横断歩道等に旗振り当番として立つことで登校中の子どもの安全が守られた。

【家庭教育部】

- ・ フィランセの保健栄養士から野菜の大切さについて話を聞いたり、子どもたちの給食の配膳の様子や食事の様子を参観したりした。学校給食に対する理解が深まった。
- ・ 6 年生の保護者へコサージュ作りへの協力を呼びかけ、多くの参加者が集まった。

ー反省点ー

- ・ 環境整備部に仕事が集中する傾向が改善された。
- ・ 新 1 年生の名簿について前年度までに伝えることができたため、旗振り当番が組めない事態はおこらなかった。
- ・ 古紙回収・アルミ缶回収の収益が減少してしまった。

ー改善案ー

- ・ 専門部会の回数を必要な数だけにしていく。(会議の精選)
- ・ 新 1 年生の入学説明会で「PTA 活動のための確認書」を集めることで、新年度に向けた当番決めをスムーズに決められるようにした。
- ・ 行事・長期休み等で古紙やアルミ缶の回収を行い、協力を呼びかける。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校 会長名 小池義治

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

令和元年度のP T A活動について、特に重点活動というものを設定していないので、ここでは、個別の活動についてではなく、全体としての取り組みと考え方について記したい。

今年度は、P T Aの全ての事業について、「総見直し」を行うこととした。見直す際には、例外を設けず、ゼロベースで事業の必要性を点検し、できるものについては今年度から試行した。総見直しの背景には、保護者のライフスタイルの変化（フルタイムでの共働き家庭の増加）や教員の働き方改革へ対応が必要不可欠との危機感があり、P T Aメンバーが無理をすることなく、尚且つ児童にとって十分な活動ができるように模索した。

まず、P T A役員会について、地区役員の毎回の出席をやめ、連絡事項がある時のみ出席してもらうことにした。2 5人ほどで行っていた会議を、本部役員など1 5名ほどに絞った。

環境整備部においては、奉仕作業の回数を春・秋の2回から、春の1回開催としたが、特に目立って運動場が汚くなっている様子はなかった。また、古紙回収について、現行の子ども会単位での回収を次年度から取りやめることとした。これにより、P T A寄付金の減少が予想されるが、そもそもの寄付金の使われ方こそを見直すこととした。（学校備品や全校児童が使うものについては公費や学年費などを充当する等）

成人教育部においては、次年度からP T A新聞発行を4回から3回に減らすこととした。

生活指導部においては、秋に4回行っていた自転車講習会を効率化することで、2回に減らすこととした。

また、P T A会費については、月額2 0 0円を1 3 0円に減額することにした。P T A会費は、P T A主催の活動の費用のみにあて、児童奨励費などの名目で購入されていた学校備品などは、公費や学年費などを充当することで十分に運営可能であり、その方がむしろ正しい在り方だと判断した。来年度は、それほど金銭負担の伴わない範囲で、新規事業にも取り組んでいきたい。

現在は、大きな時代の変革期にあり、P T A事業は、継続を前提にしない大胆な改革が必要だと感じている。それは、この報告書の提出先である「市P連」の活動も同様であり、大胆な改革を期待したい。

（報告書のフォーマットにあった部分を割愛したが、ご容赦いただきたい）

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校 会長名 渡邊 悦久

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・臨海線通学路の設定

取り組みの効果

1. 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- －具体的な効果－

- ・まちづくり協議会の協力があり、旗振り（見守り）をすることになった。

－反省点－

- ・問題点に早急に気付き、早目の対応を取りたかった。

－改善案－

- ・これからは、まち・学校・P T Aが一体となり、問題点に早急に気付き、子どもたちの成長を見届けていきたい。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一小学校 会長名 江口 秀明

令和元年度重点活動の具体的な取組内容

・ P T Aふれあいフェスタ

全校児童・保護者・地域の方に呼び掛けて行う活動。今年度は例年の中学校吹奏楽・スポーツ少年団によるスポーツ体験・バザー品の販売・P T A役員による模擬店以外に、地域の方にも模擬店の出店を協力して頂いた。また、午前中の児童会行事『富士川にこにこ祭り』終了後に開催した。

・ 専門部役員の削減

児童数（保護者数）の減少によるP T A役員の選出が困難になってきていた為、本年度より専門役員数を減らして活動を行ってきた。成人教育・体育保健・環境整備は8名→6名に、家庭教育委員会は各クラス1名選出だったが、1～3年までは各学年1名、4～6年までは各クラス1名の選出とした。（生活指導部は変更なし。）

取組の効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

・ P T Aふれあいフェスタ

児童会行事との同日開催であった為、参加する児童・保護者が前年度よりも大幅に増えた。保護者だけでなく地域の方にもP T A活動の一環を見てもらう事ができ、今後の更なる協力を繋げることができた。

・ 専門部役員の削減

役員人数を減らしての活動が可能である事がわかった。

－反省点&改善案－

・ P T Aふれあいフェスタ

児童はお弁当も持参しない日だったため、食品の販売数が足りず、すぐに売り切れてしまった。焼きそばに長蛇の列ができてしまった。おにぎりやパンなど既製品を増やし、分散できるようにしたい。児童会コラボイベントやスタンプラリーの趣旨が児童に伝わり切れていなかった。開催時間の制限もあるのでルールを複雑にしない（イベントを増やしすぎない）ように工夫する。

・ 専門部役員の削減

環境整備作業の作業分担場所が役員数より多くなると環境整備部員だけでは足りないので、本部もしくは他の専門部からの協力が必要。

令和元年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第二小学校 会長名 中村 大助

令和元年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 「かけこみ 110 番の家」登録依頼
- ② 通学路点検・通学路防犯マップ
- ③ 運動会の PTA 交流種目の企画運営（児童会種目への協力）
- ④ 救命救急講習会（二中体育保健部と合同で実施）・プール開放の監視協力
- ⑤ 登校時における交通指導
- ⑥ 給食試食会の開催
- ⑦ PTA 新聞の作成
- ⑧ 親子遊びの企画運営（科学実験・ドローン操作）
- ⑨ 奉仕活動（草取り・高所窓拭き・側溝の掃除）
- ⑩ PTA が集まる会議では、内容を精査し資料を準備することで短縮を図った。

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① 地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた。
- ② 引き取り訓練の時に通学路の危険箇所を確認し、関係各所に改善を依頼し対処してもらった。
- ⑤ 登校時における交通指導と見守りを行ったことで児童の安全が保たれた。
- ⑧ 親子で科学の面白さや不思議を体験した。
- ⑨ 奉仕活動により、児童達の手の届かない部分の整備・補修ができ、地域主催のイベントに協力できた。
- ⑩ 会議の短縮を図ることで参加する保護者や教員の負担を軽減すした。

－反省点－

- ・ P T A活動を活発にし、保護者同士の交流をさらに深めたい。
- ・ 科学遊びのような児童達の好奇心を煽るようなイベントを増やし、参加者を増やしたい。
- ・ 計画の打ち合わせを綿密に行い、PTA の行事を盛り上げていきたい。

－改善案－

- ・ 各事業の改善点や良かった点などから見直しを行い、今後の活動につなげられるようにしたい。
- ・ 保護者と教師が連携を図り、活動を円滑に行えるように努めたい。